

衣笠だより増刊号①

令和5年 9月15日
京都市立衣笠小学校
校長 畑 武巳
TEL: 075-462-0034
Fax: 075-462-0618
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=101400>



「よく出来ている」と「大体出来ている」という
評価結果の項目を合わせて「達成している」
(出来ている)項目と考えています。

第1回 学校評価アンケートへの ご協力ありがとうございました。

夏休み前に行いました第1回の学校評価の結果についてご報告いたします。

今回も、Web上で回答していただきました。201家庭のうち、153のご家庭に回答をいただき、回収率は約75%でした。スクリレ等でも告知したことで、昨年度に比べ回収率は約20%上昇しました。ご協力ありがとうございました。

今年度は、新型コロナによる制限が緩和され、アフターコロナの中、学校行事等で、新たな形を模索しているところです。子どもたちにとって、よりよい環境を整えていくためにも、保護者の方の思いや願いを真摯に受け止め、学校と家庭、地域が同じ目線で子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てていくことが重要だと考えます。

今後とも、衣笠小学校の学校運営にご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

学校評価アンケート(1)の結果

低 学 年

	じつげんど			
	よくできて いる	だいたい できている	あまりで きていない	できてい ない
たのしくがっこうせいかつをすごしている。	76.4%	19.1%	4.5%	0.0%
たのしくがくしゅうし、べんきょうしたことがわかる。	66.3%	27.3%	5.5%	0.9%
クラスのなかでは、じしんがなくてもあんしんして、じぶんのいけんをはっぴょうできる。	50.0%	36.4%	10.9%	2.7%
とちゅうでなげださず、さいごまでがんばる。	75.4%	18.2%	6.4%	0.0%
ともだちと、やさしいきもちをもってなかよくできる。	79.1%	18.2%	1.8%	0.9%
じぶんからあいさつをしている。	63.6%	25.5%	9.1%	1.8%
がっこうやクラスのきまりをまもっている。	74.6%	23.6%	1.8%	0.0%
そとでげんきにあそんでいる。	59.1%	22.7%	10.9%	7.3%
まいにち、い家でべんきょうをしている。	62.7%	25.5%	9.1%	2.7%
じぶんからすすんではみがきやてあらいをし、けんこうにきをつけている。	58.2%	35.5%	5.4%	0.9%

高 学 年

	実現度			
	よく出来て いる	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来てい ない
楽しく学校生活を過ごしている。	73.2%	21.9%	4.9%	0.0%
めあてをもって、積極的に学習している。	30.9%	61.0%	7.3%	0.8%
クラスの中では、自信がなくても安心して、自分の意見を発表できる。	30.9%	41.5%	21.1%	6.5%
とちゅうで投げ出さず、最後までがんばる。	48.8%	46.3%	4.9%	0.0%
友だちのいいところを見つけ、やさしい気持ちをもってなかくできる。	59.3%	39.1%	1.6%	0.0%
自分から元気にあいさつをしている。	60.2%	29.3%	10.5%	0.0%
学校やクラスのきまりを守っている。	51.2%	45.5%	3.3%	0.0%
外で元気に遊んでいる。	45.5%	22.8%	17.9%	13.8%
毎日、家で勉強をしている。	43.1%	35.7%	17.1%	4.1%
自分から進んではみがきや手洗いをし、健康に気をつけている。	48.0%	44.7%	6.5%	0.8%

◆結果と改善策◆

＜学習について＞

低学年では、楽しく学習し、学習内容を理解していると回答した児童が93.6%、高学年では、めあてをもって積極的に学習し学習内容を理解していると回答している児童が91.9%と、非常に高い割合だったことをうれしく思います。また、途中で投げ出さず、最後までがんばっていると回答した割合も9割以上あり、昨年度と比べ、高学年では5%ほど上がっています。アンケート結果からも、子どもたちは日々の学習の中での課題に対して、まじめに取り組み、成長しようとがんばっている前向きな姿が感じられました。

学校としては、今後も児童一人一人の様子をしっかりと見取り、学習形態や導入課題の提示の仕方などを工夫し、子どもたちが「学びたい！」と思うことで、主体的に学習へ向かえるような支援をこれまで以上に強化していきたいと考えます。

「発表・表現すること」については、年々よい傾向にあり、今年度も少しだけ上昇していました。2人組での対話やグループでの話し合いなどの機会を意図的に増やしてきたことで、伝え合うことへの抵抗感も薄れ、自分の思いや意見を発表しようとする児童が増えたのではないかと思います。また、GIGA端末の活用により、クラス内で互いの考えを共有する手段が増えたことも要因にあるかと思えます。発表するだけが伝える手段ではないですが、主体的に自分の思いや考えを伝えたいと思えるように、安心して伝え合える学級の雰囲気づくりや授業づくりを心がけていきます。

「家庭学習」については、残念なことに、年々「できていない」と回答している児童が減ってきています。特に、学年が上がるほど実現度が低くなり、「家庭学習」の習慣化については、二極化してきていることがわかります。

また、保護者の方も家庭学習や読書の習慣について不十分だと感じておられる方が約25%おられます。

学年が上がるにつれて、放課後に習い事などをする児童も増え、家庭での学習時間が取りにくくなることも要因かと思えます。

引き続き、家庭学習への取り組み方や時間の有効な使い方などを全体に伝えるとともに、習慣化できていない子に対しては個別に丁寧に関わり、家庭と協力しながら支援していきたいと思えます。

学校評価アンケート(1)の結果

保 護 者	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
楽しく学校生活をすごしている。	54.6%	40.9%	3.2%	1.3%
めあてをもって、積極的に学習している。	23.7%	64.5%	10.5%	1.3%
クラスの中では、自信がなくても安心して、自分の意見を発表できる。	22.4%	58.6%	18.4%	0.6%
途中で投げ出さず、最後までがんばる。	32.9%	55.3%	10.5%	1.3%
友だちのいいところを見つけ、やさしい気持ちをもってなかよくできる。	39.5%	55.9%	3.9%	0.6%
自分から元気にあいさつをしている。	28.3%	52.0%	17.1%	2.6%
学校やクラスのきまりを守っている。	50.0%	48.1%	1.3%	0.6%
外で元気に遊んでいる。	42.1%	34.9%	19.7%	3.3%
自分から進んで歯みがきや手洗いをし、健康に気をつけている。	27.0%	54.6%	17.1%	1.3%
おたよりやホームページなどで子どもの様子や学校の取組が伝わっている。	26.3%	58.6%	11.8%	3.3%
学校と家庭が子どものことを相談できている。	29.6%	59.9%	7.9%	2.6%
子どもが基本的な生活習慣を身につけている。	32.2%	59.9%	6.6%	1.3%
子どもが家庭学習や読書の習慣を身につけている。	30.3%	44.1%	21.7%	3.9%

<学校・家庭・地域について>

学校と家庭が子どものことを相談できているかについて、昨年度から少しずつ実現度は向上してきています。授業参観・懇談会の機会も増え、お子たちの学校での様子を見ていただくことで、安心感にもつながっているのかと思います。また、昨年度より、夏季休業前に個別相談会という形で、担任とお話していただける機会もつくりました。そういった機会が増えることで、学校と保護者との距離も近づき、些細なことでもお話がしやすくなるのかと思います。

一方で、10%近くの方が相談できていないと感じてられていることも真摯に受け止め、引き続き、保護者の方との連絡を密にとりながら、よいことはもちろん、子どもが困っていることや直していきたいことなどの情報も共有し、子ども達のよりよい成長を願って、共に歩んでいきたいと思っています。また、毎週火曜日にはスクールカウンセラーが来校しています。お子さんのこと、子育てのことなど、お困りの場合は、いつでもご相談いただければと思います。

教 職 員	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
楽しく学校生活をすごしている。	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
めあてをもって、積極的に学習し、学習内容を理解している。	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
間違いを恐れず、自分のおいを表現している。	22.2%	61.1%	11.1%	5.6%
課題を解決するため、粘り強く取り組んでいる。	38.8%	55.6%	5.6%	0.0%
お互いの良さを認め合い、思いやりの気持ちをもって行動している。	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%
自分から元気にあいさつをしている。	38.9%	50.0%	11.1%	0.0%
学校のきまりや社会のきまりを守っている。	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%
外で元気に遊んでいる。	33.3%	61.1%	5.6%	0.0%
健康や安全に気をつけて生活している。	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%
おたよりやホームページなどで子どものようすや学校の取組みが伝わっている。	27.8%	61.1%	11.1%	0.0%
学校と家庭が子どものことを相談できている。	22.2%	72.2%	5.6%	0.0%
子どもが基本的な生活習慣を身につけている。	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
子どもが家庭学習や読書の習慣を身につけている。	22.2%	72.2%	5.6%	0.0%

◆結果と改善策◆

<生活面について>



ほとんどの児童・保護者・教職員が楽しく学校生活を過ごしていると回答しています。楽しく学校生活が送れていると多くの方に感じていただけていることをうれしく思います。

しかし、楽しく過ごせていないと回答している児童や保護者がいるのも事実です。集団生活の中では、人それぞれに、様々な困りがあると思います。少しでもその困りを解消し、一人一人が安心できる居場所をつくれるように創意工夫していきたいと思っています。そして、「明日も学校に行くのが楽しみだ」とすべての児童が思えるように、日々の教育活動を進めていきたいと思っています。

「思いやり」の気持ちについては、児童・保護者・教職員のほとんどの方ができていると回答しています。子どもたちの様子を見ていても、困っている子に声をかけたり、やさしく見守ったりしている姿がたくさん見られます。衣笠小学校のよき校風として、「思いやる気もち」をこれからも大切にしていってほしいと思います。

「あいさつ」については、コミュニケーションの第一歩として、大切にしてほしいと考えています。気持ちのよいあいさつをすると、互いに元気になれると思います。引き続き、身近にいる大人がお手本となり、自分からあいさつができる児童が今以上に増えてくれることを期待しています。

<健康・安全面について>

自分の健康に気を付けている児童が低学年・高学年ともに90%以上でした。新型コロナウイルスにより、感染予防を意識してきたことで、学校では、手洗いを心がけている児童は多いと感じます。

ただ、保護者の結果を見ると、歯磨きや手洗いなどが不十分と感じている方は多く、まだまだ習慣化できていないと思われます。心身ともに健康な生活が送れるように、生活リズムを整え、規則正しい生活を目指してほしいと思います。

また、これから寒くなってくるとインフルエンザ等の流行も懸念されます。保健だより等でも、引き続き、健康管理の大切さについて伝えていきます。ご家庭でも、お便りを一緒に見ながらお話していただければと思います。健康第一です。みんなで気を付けていきましょう。